



地域ブロック情報



日本社会福祉学会には7つの地域ブロックがあり、それぞれに特徴的な活動が展開されています。今号では、九州地域ブロックおよび北海道地域ブロックの活動についてご紹介いたします。

九州地域ブロックから

九州地域ブロック担当理事
村山 浩一郎(福岡県立大学)

九州地域ブロックから近況報告をさせていただきます。九州地域ブロックでは、今年度も、年1回の研究大会の開催と、機関誌『九州社会福祉学』の発行を中心に活動を行っています。

今年度の研究大会(第62回)は、2021年6月5日(土)に「新たな時代の新たな社会福祉—いま、何が必要とされ、何ができるのか—」をテーマとしてオンラインで開催されました。九州地域ブロックとしてははじめてのオンライン開催となり、開催校を務めていただいた西南学院大学の皆様には大変なご尽力をいただきました。改めて御礼申し上げたいと存じます。

研究大会では、武庫川女子大学教授の松端克文先生による基調講演(「新たな時代の新たな社会福祉—『地域共生社会』議論の批判的検討を通じて—」)に続き、地域支援、居住支援、災害支援、外国人支援など、多様な分野で活躍されている実践者の方々によるシンポジウムが行われました。200名を超える会員・非会員の方々にご参加いただき、近年の社会福祉の施策動向や実践現場の実情を踏まえて、これからの社会福祉のあり方について考える貴重な機会となりました。また、自由研究発表にも積極的に応募いただき、10本の発表を大会ホームページ上で実施することができました。

来年度の第63回研究大会は、長崎国際大学を開催校として実施される予定です。しかし、新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見通せないことから、今のところ、次回大会もオンライン開催となる見込みです。また、これに伴い、研究大会の際に開催しておりました九州地域ブロック定期総会につきましても、今年度同様、来年度も書面決議による開催とさせていただく予定です。何卒、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

機関誌『九州社会福祉学』については、現在、第18号の編集を年度内の発行を目指して行っているところです。すでにお知らせしておりますとおり、今年度、執筆要項の改訂を行い、改訂版は日本社会福祉学会ホームページの「地域ブロック情報」に掲載しておりますので、ご投稿の際にはご確認ください。なお、執筆要項や投稿手続きについては、編集委員会において引き続き検討が行われており

ます。今後、執筆要項等の改訂がありましたら、メール等でお知らせいたしますので、ご注意いただければと思います。

最後に、現在の地域ブロック運営委員会の任期が今年度いっぱいとなっておりますので、今年度末に次期運営委員の選挙を実施したいと存じます。こちらについても、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

北海道地域ブロックから

北海道地域ブロック担当理事
大友 芳恵(北海道医療大学)

2022年の新しい年をおかえました。この時期の北海道はまさに雪とともにあります。今年は降雪量も多く、本来の美しい雪景色も、生活者の視点からはため息に通じてしまいます。

私見ですが、近年感じていることは、雪のなかで暮らす市民にとっての移動を担う公共交通機関のJRは雪に弱く、運休が続き通勤通学、市民の生活に大きな影響を及ぼしていることです。北海道内の路線は人口減少とあいまって、赤字路線も多く、廃線を余儀なくされている地域も多くなっており、収益が得られないとそこを遮断してしまう現状に「公共性」とはなにか、公共交通機関としての本来的な使命は何なのかと考えることが多くあります。

このような地域課題を抱える北海道ブロックでは2022年度にブロック活動60周年をおかえることとなります。そこで、2022年度のブロック活動としては、この60年の年月の中で、北海道の地域課題に対する「社会福祉学」からの接近はどのようなものであったか、この節目を契機としてブロック会員の皆様とともに検証と継続を図っていきたいと考えております。

社会はまだまだコロナ禍での苦難を強いられ、困難を抱える人々を支え切れていない現状がありますが、微力ながらも、私たちの研究や実践が社会に寄与するものでありたいと思います。

1月の北海道から・・・。